

○ 他の「ふくしま式」シリーズとの本質的な違いとは？

「ふくしま式」シリーズの問題集はたくさんあり、どれを優先させればよいか迷う方も多いようです。そこで、シリーズ全体の構造をお示ししておきます。ご参照の上、これだと思えばスタートさせてみてください。

読む・書く・話す・聞く、どれをとっても根底にあるのは論理的思考力であり、この問題集もその意味では変わりません。

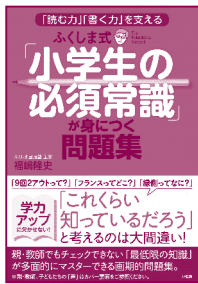
しかし、巻末の音声文を注意深く見ていただくと分かりますが、今回はほとんどが**口語調**になっています。読解問題の本文を読み上げるような形式は、極力避けました。

口語では、「しかし」「なぜなら」などといった硬いイメージの**接続語が少なくなり**ます。その分だけ、**論理的な関係性を見出すための集中力が求められます**。

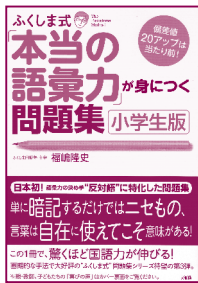
ぜひ、そういった視点でも、他の問題集との違いを見つけてみていただければと思います。

(注) 設問中、「最もふさわしいものを二つ選び……」とあるのは、分かりやすくするための意図的な二重表現です。

語彙力の育成

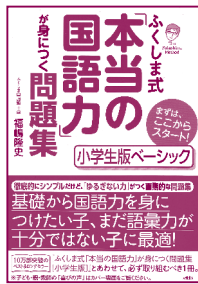


「具体的語彙」

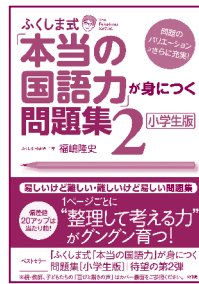


「抽象的語彙」

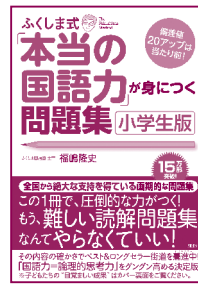
思考力 = 「3つの力」の育成



「聞く」に特化



「読む」に特化



「書く」に特化

